

新旧対照表

新	旧
逆止弁付メータパッキン仕様書 1 用語 (現行のとおり) 2 概要 (現行のとおり) 3 材料 (1) (現行のとおり) (2) 弁体の材料は、POM（ポリオキシメチレン） 又は同等以上の 強度・耐摩耗性・耐水性・耐食性・耐老化性・耐塩素性等有り、水質に影響を及ぼさないものとする。 (3) から (4) (現行のとおり) 4 外観 (現行のとおり) 5 性能及び試験方法 使用上、十分な強度及び耐久性を有し、水質に悪影響を及ぼさないものであること。 性能及び試験方法は、表 - 2 によること。 なお、圧力損失試験以外は逆止弁付メータパッキンを東京都水道局（以下「発注者」という。）で使用している継手（任意）に接続して行うこと。	逆止弁付メータパッキン仕様書 1 用語 (略) 2 概要 (略) 3 材料 (1) (略) (2) 弁体の材料は、POM（ポリオキシメチレン）とし、強度・耐摩耗性・耐水性・耐食性・耐老化性・耐塩素性等有り、水質に影響を及ぼさないものとする。 (3) から (4) (略) 4 外観 (略) 5 性能及び試験方法 使用上、十分な強度及び耐久性を有し、水質に悪影響を及ぼさないものであること。 性能及び試験方法は、表 - 2 によること。 なお、圧力損失試験以外は逆止弁付メータパッキンを東京都（東京都水道局。以下「発注者」という。）で使用している継手（任意）に接続して行うこと。

新旧対照表

新							旧																														
表 - 2 性能及び試験方法							表 - 2 性能及び試験方法																														
性 能 項 目		性 能				適用試験方法	性 能 項 目		性 能				適用試験方法																								
耐圧性 浸出性 逆流防止性		平成 9 年厚生省令第 14 号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合すること。				JIS S 3200	耐圧性 浸出性 逆流防止性		平成 9 年厚生省令第 14 号「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合すること。				JIS S 3200																								
圧力損失		下表に示す基準流量において、圧力損失値が 20kPa 以下であること。 圧力損失値は、逆止弁付メータパッキンをメータ伸縮ソケットに接続した状態の値と同パッキンを除いた状態の値との差とする。 単位 L/min				JWWA B 129	圧力損失		表 - 3 に示す基準流量において、圧力損失値が 20kPa 以下であること。 圧力損失値は、逆止弁付メータパッキンをメータ伸縮ソケットに接続した状態の値と同パッキンを除いた状態の値との差とする。 表 - 3 基準流量 単位 L/min				JWWA B 129																								
		<table><tr><td>呼 び 径</td><td>13</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>40</td></tr><tr><td>基準流量</td><td>16</td><td>38</td><td>60</td><td>85</td><td>150</td></tr></table>				呼 び 径	13	20	25	30	40	基準流量	16	38	60	85	150				<table><tr><td>呼 び 径</td><td>13</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>40</td></tr><tr><td>基準流量</td><td>16</td><td>38</td><td>60</td><td>85</td><td>150</td></tr></table>				呼 び 径	13	20	25	30	40	基準流量	16	38	60	85	150	
呼 び 径	13	20	25	30	40																																
基準流量	16	38	60	85	150																																
呼 び 径	13	20	25	30	40																																
基準流量	16	38	60	85	150																																
弁体の作動性		弁体の離脱圧力は、20kPa 以下であること。				JWWA B 129	弁体の作動性		弁体の離脱圧力は、20kPa 以下であること。				JWWA B 129																								
水圧性		通水圧が 1MPa の条件下で、2MPa の水撃圧を急激に加えたとき、漏れ、破損その他異常がないこと。				附属書 1	水圧性		通水圧が 1MPa の条件下で、2MPa の水撃圧を急激に加えたとき、漏れ、破損その他異常がないこと。				附属書 1																								
耐久性		耐久性能試験後、耐圧性、逆流防止性及び弁体の作動性を満足すること。 また、作動に影響するような摩耗がないこと。				附属書 2	耐久性		耐久性能試験後、耐圧性、逆流防止性及び弁体の作動性を満足すること。 また、作動に影響するような摩耗がないこと。				附属書 2																								
耐摩耗性（呼び径 13 のみ）		耐摩耗性試験の前後で弁体の形状を三次元測定機又は画像測定機で計測し、最も摩耗した箇所の摩耗量が 0.03mm 以下（測定機器の誤差を含む）であること。 また、弁体が円周方向に回転しないこと。				附属書 3																															

新旧対照表

新	旧
6 構造及び形状 構造及び形状は、次の条件を満たすものでなければならない。 なお、発注者で使用している継手及びメータパッキンの寸法は、附属書 4 によること。 (1) から (8) (現行のとおり) (9) 弁体は、表-2 中各呼び径別の基準流量で全開となること。 (10) 弁体が通水中に回転することのない構造とすること。 7 梱包 (現行のとおり) 8 その他 (現行のとおり) 附属書 1 水圧性能試験 (現行のとおり) 附属書 2 耐久性能試験 (現行のとおり)	6 構造及び形状 構造及び形状は、次の条件を満たすものでなければならない。 なお、当局で使用している継手及びメータパッキンの寸法は、附属書 3 によること。 (1) から (8) (略) (9) 弁体は、表-3 の基準流量で全開となること。 7 梱包 (略) 8 その他 (現行のとおり) 附属書 1 水圧性能試験 (略) 附属書 2 耐久性能試験 (略)

新旧対照表

新	旧
附属書 3 耐摩耗性試験 試験方法 図 - 3 に示すような配管に逆止弁付メータパッキンを取り付け、定流量で連続して 8 年間相当時間（2,920 時間）以上通水する。通水前及び通水終了後に、試験に使用した供試品の弁体を三次元測定機又は画像測定機で計測し、最も摩耗した箇所の摩耗量が 0.03mm 以下（測定機器の誤差を含む）であることを確認する。 また、通水方向に対して、弁体が円周方向に回転しないことを確認する。 試験における圧力は静水压で 0.4MPa とし、定流量は以下の手順で定める。 1 供試品を試験装置に設置したのち、停水状態から 1L/min ずつ通水量を増やし弁体が全開になるまで通水し、供試品の弁体の挙動を確認する。 なお、弁体が全開になるまでの通水状況を動画で撮影し、発注者から提出を求められた際は速やかに提出する。 2 弁体が全開になるまでに、弁体が最も振動する流量を定流量とする。 3 弁体の振動を確認できない場合は、12L/min を定流量とする。 図 - 3：耐摩耗性試験装置例 ・ 供試品を設置するクリアパイプの内径はメータソケット収納部と同径（許容値＋1mm）とし、極力損失を少なくすること。 ・ メータは、都仕様メータ（呼び径 13）と同様のものを用意すること。なお、ネジ形状は「都ネジ」、「上水ネジ」のどちらでもよい。	（新規）

新旧対照表

新	旧
・試験装置は、水道用逆流防止弁（JWWA B129）に記載されている圧力損失試験の配管を参照し、ボールバルブに接続する配管は 10D（管径の 10 倍の長さ）またはそれ以上とすること。装置の末端は短い距離で放出し、水の循環は受水槽によるか配管装置により大きな径の管で行うことなどにより末端の抵抗を減少させること。管種は水道管用硬質塩化ビニルライニング鋼管（JWWA K116）を標準とするが、水道用ステンレス鋼鋼管（JWWA G115）も認める。 ・試験装置に用いる配管の詳細は任意とするが、ボールバルブ、水道メータ、供試品（クリアパイプ内）を連結し、実際の現場設置条件に近づけること。供試品を連結した上下流の配管には十分な直管域を作り、流線を安定させた環境で行うこと。 附属書 4 継手及びメータパッキン （現行のとおり）	附属書 3 継手及びメータパッキン （略）